

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

小児外傷性脾損傷における探索的観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 小児外科（研究責任者） 星 玲奈

<研究期間>

承認日 ～ 令和5年（西暦2023年）12月31日

<研究の目的と意義>

外傷性脾損傷は仮性動脈瘤破裂や遅発性脾破裂などの合併により致命的となることがありますが、とくに小児の外傷性脾損傷に関する報告は少なく、入院管理の方法やフォローアップの画像検査の時期については明確な基準はありません。今回、当院で行った小児外傷性脾損傷12例の治療経験を振り返り、入院管理の方法やフォローアップの画像検査の時期が適正であるか検証します。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録の中から下記に示します項目に関する情報を収集します。

<対象となる方>

西暦2008年1月1日から2019年12月31日の期間に当院小児外科にて外傷性脾損傷と診断され入院加療を受けた16歳未満のお子さん。

<研究の方法>

評価項目は年齢、性別、受傷機転、外傷の分類（日本外傷学会脾損傷分類に基づく）、合併損傷、初診時の血圧、初診時のヘモグロビン値、輸血施行の有無、受傷から入院までの日数、在院日数、救急救命センター入室日数、入院中に施行したCT検査の回数、手術/血管内治療の有無、病棟での管理内容、転機、外来フォローアップの内容の16項目とし、これらに関する情報を診療記録から収集します。評価項目のうち年齢や入院期間については中央値を算出し、受傷転機と関連付けて特徴を評価します。また、施行されたCT検査の回数、入院中の管理方法、外来フォローアップの内容については転機と関連付けて解析し、入院管理の方法やフォローアップの画像検査の時期が適正であるか検証します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町30-1）

小児外科 氏名：星 玲奈

電話：03-3972-8111 内線：(医局)2452 (PHS)8571